

つどい

第 4 号

大 代 公 民 館

昭和46年 8 月 10 日 発行

大 田 市 歌

- 一、石見路の ひがしにして
空青く 輝くところ
赤々と 靄つらなり
伸びゆかむ 意気は漲る
あゝここに 開ける街は
吾等が街 大大田
- 二、仰ぎ見る 三瓶の山は
重なる 山脈の上
千切れ雲 低く行き交い
さわやかに 浮ぶごと立つ
あゝここに 明るき街は
吾等が街 大大田
- 三、ゆたかなる 土をうるおす
水清き 大田の流れ
起き伏して 続く田の面に
黄金なる 稲穂はなびく
あゝここに 育てむ街は
吾等が街 大大田
- 四、海原は 遠くかすみて
砕け散る 磯の白波
諸船の 煙あひつつ
寄り集い 港賑わう
あゝここに 栄ゆる街は
吾等が街 大大田

孟 蘭 盆 によ せ て

ウラボン経に起源する お盆を迎える時、私は人の母の切なる心情を強く感ぜずにはいられない。わが子を育てるため偏愛 盲愛といわれる程の愛情をもつてする わが子のために親は餓鬼道へ沈んでゆくのである。私はその善悪を論ずるのではない、ひたすら母の愛情、親心を尊く思うのである。

仏前にひざまづく。墓前にぬかがづくそれは母の心にふれる時であり、先祖の心に会う時である。理論を越えた、いのちといのちのふれ合う世界である。

「おかげさま」「有難うございます」感謝する心が合掌の姿に現われるのである。そこに、人として生きる、よろこびが湧くであろう。

九月の「敬老の日」を35日の中の一日にだけに終らせてはならない。人として生まれた、よろこびを、生活のささえとする時、敬老せねばならぬから、ではなく「せすにはいられない」と高めることが人間らしい尊さ、美しさだと思ふ。

秋分の日の行事も、この心の、つながりであらねは意表がないではあるまいか。

奉仕

その人の価値は財産、社会的地位、学歴、能力ばかりではきめられない。その人が何を子孫に残そうと伝えようか、と想っているか、又少しでも社会に役立つことを、ねがっているかどうかによつて決められると思ふ。

世の中が進んでたしかに便利になつたが、自己中心主義の心が強まって来た。ゼニにならんことばしなない損をしないようにと考へた行ないが一般常識になつて、いるようでは見えない。奥にさびしいことである。おじいちゃん、おばあちゃん、お孫が、いくらくくれるかと、事前にお話を付ける。親の手伝いをする子が、何かを要求する。こんなケースは今頃多いそうである。坂道で荷車を苦しそうに引

いているのを見て、後おしをして、満ちたりたよろこびを感じた少年時代を、なつかしく思う。「時代がせちぢなく戻つた」と云う水口は、自分の行為をべんかにする。かくれみのであるように思う。世の中があれはこそ一人の奉仕する心次第。ひとさまがよろこぶことを進んでやる。こんな人は、今この時代である。「ひとさまがよろこぶべからぬ」ことを一人でも多くの人が、やうでなければならぬ。うらおいのある、明るい社会にならぬと思ふ。自分一人だけの利益を主張するすべからぬ。美しいとは云えない。

奉仕、それは目だたないけと自分自身を愉快にする。人に認められなくても、お金に代えられぬ、尊いおこころである。

連絡所だより

最近交通事故な多くなり、ました。が交通事故等による見舞金を請求されますと、きは、次の書類を整えて連絡所へ御相談下さい。手続きが不備でありますと折角いたゞけるお金も貰えなくなることあります。から特に注意して下さい。二免許証を必要とする乗物による事故の場合たとえ自損行為であつても必ず警察へ届けて証明をもらう。一免許不要の乗物等による事故に場合は、第三者の証明をもらう。

市政懇談

七月二十九日午前九時半より、公民館で、市長、部課長を迎えて、よく話しよく聞き、よく知り、よく

暑中 御見舞い
水害 申し上げます

大代公民館
大代連絡所
社協大代支部

明るい市政の線に沿つて「市民の声を聞く会」が催されました。太田市政全般について図表により説明がなされた後、市民の要望事項である「災害復旧」「水道水源の解決」その他について、市長と市民との間に意見交流が活発になされ、所定の時刻を三〇分も延長された程でした。公約を守る市長さんの態度は、よりよい大田市へ発展するであろうことが感じられ、明るい拍手で閉会されました。

三 ない運動

昔の人は心な強いが、今の者は弱いとよく言われます。この丸には色々原因はありましようが、昔の人は自然に近い生活をしたからだと思います。現代はあまりにも文化水準が高まり、気のつかない間に歪められた生活を余儀なくされた結果ではないかと思えます。

食品でいえばチクロ、漂白剤、色素等の問題。昨日迄よかつた物が今日からは危険な食品として扱われた事を思い出します。県の婦人会館に消費センターが出来たのも、そうした物を検査し、私事に正しいものを示し、見る眼、考える思慮を与えて下さる為です。私等は消費の責任者です。関心をもって日常生活と取り組まなければならぬと思えます。

一 家にいかがわしい物があれば消費センターで検査して頂く事が出来ます。万

一 不良品があれば

買わない

事です。買わないければ

売らない

ようになり、売れなければ

作らない

ようになります。悪い物は三ない運動によって掃出し、てしまふ事です。カラーテレビの不買運動は少し意味

が違いますが、買い控えの時的に買わない。運動をした為安くなり、消費者は大

変助かつた訳です。考えて見ますと私等の周囲には色々な問題が沢山あります。どんな僅かな事で

も永い間の蓄積はやがて生命さえもむしばんで行きます。又物価にも響いて参ります。お互いにかしこい消費者になりたいものと思

います。

夏の健康

いよいよ本格的な暑い夏が、おとすれました。

この季節は長わすらいの病人の死亡率が高いといわれ全く不健康なときです。病気をしないよう、けがをしないよう消極的に、防衛的に暮すべき季節とされています。

先ず第一に食生活に気を配り、胃腸が弱っていますので、暴飲暴食をつつしむことが大切です。食べ物

は、酔もの、植物性油脂を多くつかう等ビタミンやタンパク質の欠乏を防ぐ工夫が必ず

要です。又暑くなるしくて睡眠不足になりがちですので、

日中の、ひる寝、食後の仮眠も有効とされています。

夏は肌に残る汗の塩分をとり去って発汗を助長することが大切とされています。

シャワーや、入浴で肌の汗

を洗い落して、皮膚を清潔にして、さっぱりした気分になることがのぞまれます。

ことも

交通安全

○ 道路の右側を歩きます
車は左、人は右

○ 車のかげや、小路から急に道路へ、とび出さないこと

○ 道路を横ぎる時は左右の安全をたしかめる

○ 自転車は体に、合ったものに乗ります

○ 車の通る道路では遊ばない

○ とび出すな
車は急に止められない

あやまちのない、たのしい夏休みをいたしましょう。

社協から

社会福祉協議会大代支部
へ香典返しにかえ 次の方
々よりご寄附を頂きました
ここに掲載し厚く御礼申し
上げます。

部落名 小芳名

椿 山口ハナヨ殿

上市 田中 憲輔殿

椿 渡辺 美里殿

飯谷 坂本 武人殿

大田市観蓮句会

入選句 (四句)

老鷹や町から村へ

伊勢神樂

島原の大十字架や 炎天下

重本コト

わか場所と決めて安堵や

夏の雲 武田島子

羨州りて未だ灯らぬ

我が家に 荒本幸子

愁心のそぞろ歩けば

月流し

三枝子

友と待つ湖水に赤き

夏の月 寿枝

子の進路語りて仰ぐ

夏の月 いちえ

公民館

だより

七月二十五日 家庭教育

学級開講式に続いて第一回

講座 講師は松島定範氏

わが子の育成に 深い関心

を持つ親が集り 熱心に話

合って 時の過ぎるのも

わからぬ程でした。

わか子 わが家庭につい

ての問題が出され 同じ悩

みの人達はその打開につい

て話し合われ 次回八月二

十九日の学級を兼しみに

帰途につきました。

一年前までは荒地のよう

に雑草が生い茂っていました

た「公民館横の庭が 婦人

会」がたの 奉仕作業で

見遠える程 美しい花壇に

なりました。今は亡き

泉 清輔分校主事先生の指

導により石が配置され「お

庭」風となり 住民の茶の

間にふさわしい場として格

好が出来ました。

婦人会有志の方達が毎月

手入れをするよう 計画し

ていて下さるとのことです

ここに深謝いたします。

かねてより懸案になって

いました 調理室設置につ

きましては 町民の皆さん

の快よいご協力により 地

元負担額を調達して頂きま

したことを厚く御礼申し上

げます。

市当局へは早急に工事に

着手できるよう御願いして

おります。

お盆に帰郷される方達を

まじえてソフトボルの試

合を計画しております。夜

は青年団有志の主催で盆お

どり大会があります。

「お盆に帰ってきてよかつ

た」 こんど方向へ進めた

いものとねがっています。

ふるって御参加下さい。

郵便番号は住所の一部で

す。

はっきり書くことにきめら

れています。書くべきもの

な書いてないと、その人の

人格がうかがわれます。

しまりを守りましょう。



云いわけをしてすみませ

んが、七月の豪雨で日程が

くるい発刊がむくれました。

おわびいたしました。

あなたの館報です。意見

原稿をお寄せ下さい。

次号は十月発刊の予定です。

なっています。